

これからの英語教育とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
先週の土曜日と日曜日には、大学入試センター試験が行われました。現高校 3 年生の皆様と大学進学を志望する皆様が、自分の未来を切り開くためにセンター試験を一所懸命に受けました。
2. そして、今日 1 月 24 日、学校によっては明日の 25 日は実用英語技能検定、つまり英語検定の実施日です。英語をコミュニケーションの手段として使いたいと考えている方々が、日本国中で英語検定に臨んでいます。特に、今は 3 学期ですので、この 1 年間の学習を振り返り、例えば中学 1 年生であれば 5 級に、中学 2 年生は 4 級に、高校受験のために受ける人は少数かもしれない中学 3 年生は 3 級に、高校 1 年生は準 2 級に、高校 2 年生は 2 級に挑戦する方が多いです。ただ、2 級は高校卒業程度のレベルですので、高校 3 年生でもなかなか受かりません。それほど難しい試験です。
3. ところで、文部科学省は、2020 年には小学 3 年生から英語の授業を正式に学校教育に採り入れるとのことです。ですから、これからは小学生でも英語検定を受ける方が増えると思います。
4. また、来月の 2 日頃からは全国の私立中学校・高校の入学試験が始まります。首都圏では 32 の私立中学校が入学試験の科目に英語を導入するそうです。今後、小学校でも正課として英語を学習するようになると、何年後かにはほとんどの私立中学校で英語が試験科目として課せられるのではないかと私は推測します。そのため、英語検定を受検するのは、今までは中学生が中心でしたが、これからは小学生も多くなり、英語の 4 技能を身に着けることが大事になると思います。
5. 英語をはじめとする語学の習得に大切な能力は、4 つあります。1 つは「読む力」、2 つ目は「聞く力」、3 つ目は「書く力」、4 つ目は「話す力」です。これらは順不同でよいのですが、書かれている英語がよく読める・相手の話していることが聞き取れる・自分の言いたいことが英語で書ける・目の前にいる人とコミュニケーションが取れるという能力、つまり、読んで、聞いて、書いて、話せるという能力を身に着けることが大事です。

6. 現行の高校入試や大学入試などには、読む力と聞き取る力(リスニング力)を問う問題は出ますが、書く力と話す力に関するものはあまり出題されません。そのため、書いたり話したりすることは大切であるにもかかわらず、それらが学校教育の中で行われることは少ないです。中学校や高校の英語の先生は、書いたり話したりすることを授業の中で一所懸命に教えようとしていますが、試験に出ないため、それらを熱心に行っている中学生や高校生は少ないようです。書いたり話したりする時間が短いので、それらの力がなかなか身に着かないとのこと。
7. 同様に、私立中学校の入学試験に向けても、書いたり話したりする時間はあまり取らずに、読んだり聞いたりすることに対する指導が多くなっています。これは、入学試験に出題されるのは読んだり聞いたりする問題が多く、書いたり話したりする問題はほとんど出ない傾向にあるからです。ですから、今からよく検討していただき、新しい試験にするのであれば、英語の大切な 4 技能である読む力・聞く力・書く力・話す力を同じように測るものを作っていただければと思います。そうすると、子どもたちも書いたり話したりする練習や勉強に励み、自分の考えていることをすらすらと書けるようになり、自分の言いたいことをすらすらと話せるようになると思います。
8. 日本の英語教育に最も不足しているのは、話すこと・書くことだと言われています。前述したように、私立中学校では英語を入試科目に入れるようになってきました。実際に、首都圏にある私立中学校のうちの 32 校は、今年の 2 月上旬に行われる入試で英語を出題します。ですから、書いたり話したりする問題の出題も検討していただきたいと思います。栃木県内にも私立中学校がたくさんありますので、英語を入試科目に入れるのであれば、書いたり話したりする問題も出題していただきたいと思います。
9. また、大学入試もこれから大きく変わります。おそらく 2020 年までには書くこと・話すことが、読むこと・聞くことと同じぐらいの配点になると思います。英語が 400 点満点であると、読むことが 100 点、聞くことが 100 点、書くことが 100 点、話すことが 100 点のように同じ配点になると考えられますので、日本の英語教育も少しずつ変わってくると思います。このように、理想的な英語教育ができ、理想的な英語の入学試験が行われれば素晴らしいです。
10. 我々学習塾も、今後は書いたり話したりすることを教育課程の中に入れていきたいと考えています。これからは、学校の授業でも書いたり話したりすることがどんどん増えていきますので、学習塾もがんばりたいと思います。今日は英語検定が行われていますので、英語教育についてお話をさせていただきました。